

連載：原点

「日々勉強」

磯辺高等学校 西塚 綾乃

磯辺高校に着任して4か月が経とうとしている。少し慣れてきた今、ようやく冷静に生徒や自分のことを見つめ、考えられるようになった。

私がこの4か月の間に関わった生徒の多くが数学に対しての苦手意識が強く、中には失敗を恐れるように授業を受けていたり、諦めてしまったりしている生徒もいる。「授業の中でたくさん間違えていいんだよ。」「間違えてもいいからちゃんと自分で考えよう。」と励まし、考える時間を与えているつもりでも、なかなか生徒の気持ちや取り組みを前向きに変えることができていない。その一方で、数学が苦手でも逃げずに一生懸命取り組んでいる生徒もいる。放課後になるとワークや教科書を持ってきて「教えてください。」と頼ってきてくれることもある。

このように生徒はさまざまなモチベーションで授業に臨んでいるため、一人一人に響く授業をするということとはとても難しく、状況に応じた指導力の必要性を感じる。しかし、私にはまだまだ指導力が足りていない。毎日の教材研究で念入りに準備をしてから授業をしても、反省することばかりでなかなか納得する授業ができずにいる。そして、教師になり毎日授業をするようになってから、特に感じていることは、これまで私に関わってくださった先生方や、磯辺高校で授業を見せて下さった先生方が、本当に素晴らしく尊敬できる方々だということである。私も一日も早く、生徒にとって分かりやすく、考えることが楽しいと思える授業ができるようにさらに努力していきたいと思う。

また、私は講師経験もなく、学生時代の短い実習の中でしか実際の現場を知らずに磯辺高校に着任することになった。着任してからは、授業以外の業務のほとんどが知らないことだらけで、不安ばかりが募っていった。それとなく、授業以外にもたくさんの仕事があることを理解しているつもりでいたが、想像している以上にやるべきことが多いことに驚いた。さらに、数か月先や来年度を見越して業務を進めることが多く、計画性や見通しをしっかりと立てられる能力も大切なのだと知った。

私は教材研究に割く時間の余裕を与えていただいているが、周りの先生方は本当にいろいろな場面で生徒のため、学校のために活躍されている。私も来年度以降を見越して、先生方が一年間どのように動いているかをよく知り、微力ながらも磯辺高校がより良い学校になるよう力を尽くしたい。

今はまだ自分のことで精一杯になってしまうことがあるが、「日々勉強」の気持ちを忘れずに、今後も謙虚に前向きに精進していきたい。